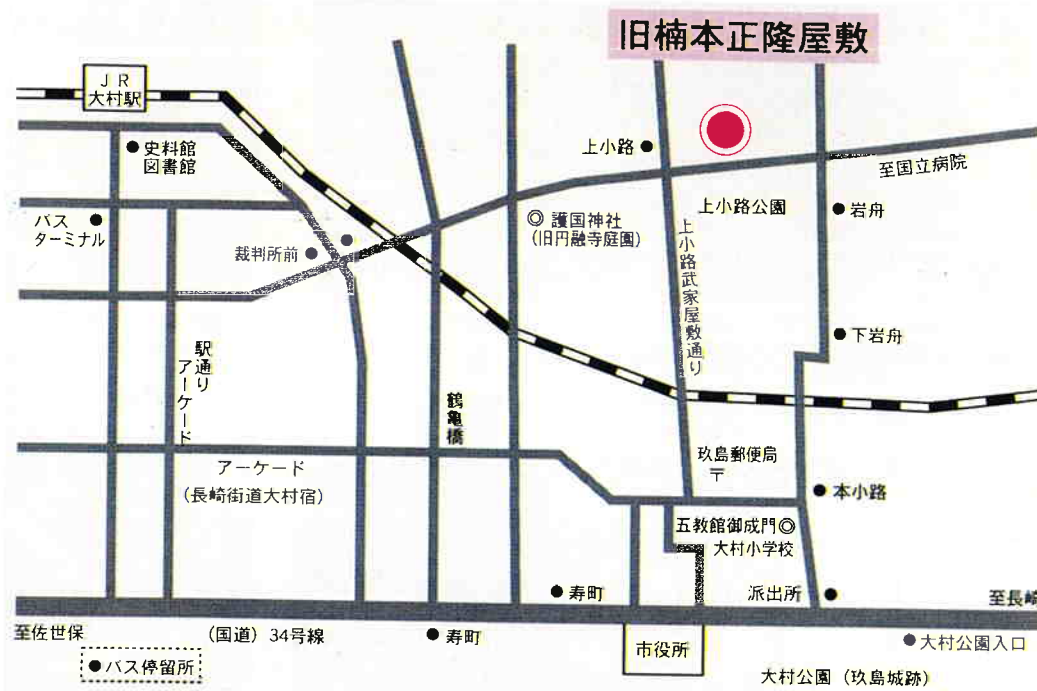


長崎県指定有形文化財・大村市指定史跡

# 旧楠本正隆屋敷



- 所在地 〒856-0834 長崎県大村市玖島2丁目291番地4
- 電話 0957-52-9885
- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 月曜日(月曜日が祝祭日の場合その翌日)  
年末年始(12月29日～1月3日)
- 入場料

区分	入場料
大人(高校生以上)	200円 / 1人
小人(小・中学生)	100円 / 1人

- 駐車場 普通車10台
- 注意事項 屋敷内での喫煙・飲食はできません。





# 楠本 正隆 (くすもとまさたか)

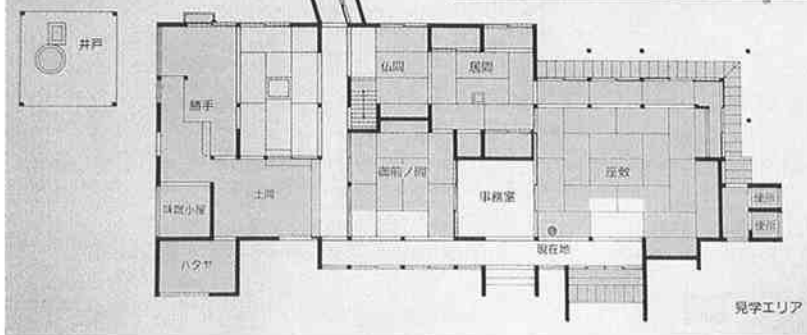
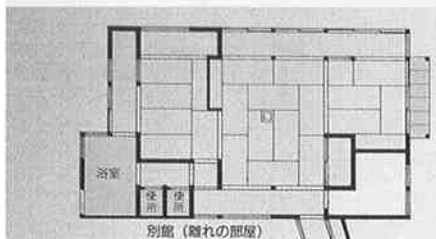
幕末に活躍した大村三十七士のひとり。明治維新の後は地方行政官として名を高め、のちに衆議院議長となった。

- 1838 (天保 9) 大村藩馬廻り役、楠本正武の長男として大村の岩船に生まれる。
- 1868 (明治 元) 長崎府判事に就任。井上聞多(のちの馨)、大隈八太郎(のちの重信)等と親交を交わす。
- 1872 (明治 5) 新潟県令に就任。初期の新潟県政に尽力し評価を高める。
- 1877 (明治 10) 東京府知事に就任。
- 1889 (明治 22) 東京市議会議長に就任。
- 1890 (明治 23) 第1回衆議院議員総選挙で、東京1区から当選。
- 1893 (明治 26) 衆議院副議長、衆議院議長(第3代~第5代)に就任。
- 1896 (明治 29) 華族に列せられ、男爵の位を授けられる。代議士を辞任。
- 1902 (明治 35) 65歳で死去。



## 旧楠本正隆屋敷

この屋敷は、楠本正隆によって明治3年に建てられたもので、寄棟造り、棧瓦葺き、平屋建て一部2階の母屋と、渡り廊下で結ばれた別棟の離れからできています。建物の様式から、近世武家住宅の系譜を引くもので、建物だけでなく石垣、庭園などを含めた屋敷地の全体がほぼそのまま残っており、旧大村藩内に残る武家屋敷の遺構としては、最も形式の整ったもののひとつです。



## 明治維新と大村

ペリーの来航により鎖国に幕を下ろした徳川幕府に対して、尊王攘夷運動が活発化します。大村藩においても主導権をめぐって確執が深まり、急進派のひとり松林飯山が暗殺されました。これを機に藩を揺るがす「大村騒動」が起こり、藩主大村純熙と三十七士を中心に薩摩、長州等と組み討幕を目指しました。戊辰の役での活躍が認められ、明治新政府から薩摩、長州、土佐藩に次ぐ3万石の賞典録を与えられ、また多くの大村人が明治政府を中心に活躍しました。



大村純熙  
大村家三十代、最後の藩主。



渡辺清  
三十七士のリーダー格。



長与専斎  
近代医学・医療制度を確立。



松林飯山  
大村勤皇思想の中心人物。



渡辺昇  
薩長同盟に大きく関与。



石井筆子  
女性教育、障害者福祉に尽力。

